

製品名: アネキシン A1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85287**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.62mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 39 kDa; Observed MW: 39 kDa

抗原情報

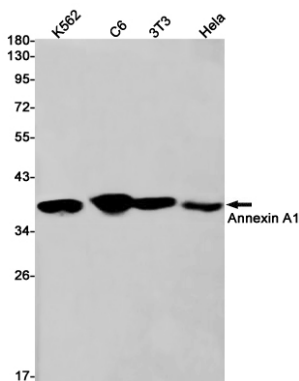
遺伝子名	Annexin A1
別名	ANXA1; ANX1; LPC1; Annexin A1; Annexin I; Annexin-1; Calpactin II; Calpactin-2; Chromobindin-9; Lipocortin I; Phospholipase A2 inhibitory protein; p35
遺伝子 ID	301.0
SwissProt ID	P04083
免疫原	ヒトアネキシン A1 の組み換えタンパク質

背景

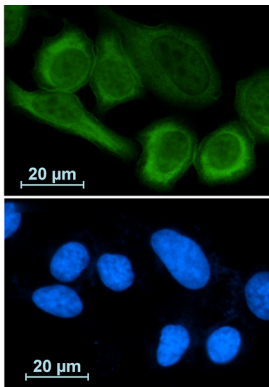
自然免疫応答において、グルココルチコイドを介した反応のエフェクターおよび炎症プロセスの調節因子として重要な役割を果たします。抗炎症活性を有します (PubMed:8425544)。炎症反応の初期段階におけるグルココルチコイドを介したダウンレギュレーションに関与します。炎症の消散と創傷治癒を促進します (PubMed:25664854)。少なくとも部分的には、ホルミルペプチド受容体および下流のシグナル伝達カスケードを活性化することで機能します (PubMed:15187149、PubMed:25664854)。ホルミルペプチド受容体の活性化を介して、顆粒球および単球の走化性を促進します (PubMed:15187149)。T細胞の活性化によって引き起こされるシグナル伝達カスケードを強化することで適応免疫応答に寄与し、活性化T細胞の分化と増殖を制御します (PubMed:17008549)。T細胞のTh1細胞への分化を促進し、Th2細胞への分化を負に制御します (PubMed:17008549)。刺激を受けていないT細胞には影響を与えません (PubMed:17008549)。アクチン細胞骨格の再編成、細胞極性化、細胞移動を促進します (PubMed:15187149)。ホルミルペプチド受容体の活性化とアクチン細胞骨格の再編成を介して、ホルモンエキソサイトーシスを負に制御します (PubMed:19625660)。Ca²⁺に対する親和性が高く、最大8個のCa²⁺イオンを結合できます。リン脂質膜へのCa²⁺依存性結合を示す (PubMed:2532504、PubMed:8557678)。食細胞カップおよびファゴソームの形成に関与する。食細胞とアクチン細胞骨格間のCa²⁺依存性相互作用を媒介することにより、食作用に関与する。

研究分野

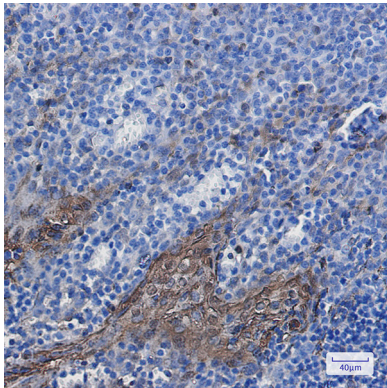
画像データ



Annexin A1 抗体を使用した K562、C6、3T3、Hela 溶解物中の Annexin A1 のウェスタンプロット分析。



アネキシン A1 抗体と DAPI (青) を使用した A549 のアネキシン A1 (緑) の免疫細胞化学分析。



アネキシン A1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。